

## 亀岡市入札監視委員会 議事概要

|                          |        |                                                                                                                                                                                   |                          |
|--------------------------|--------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------|
| 開催日時及び場所                 |        | 令和3年7月27日(火)<br>午後3時から午後5時<br>亀岡市役所4階 入札室                                                                                                                                         |                          |
| 出席委員氏名(職業)               |        | 委員長 久保 祐貴(弁護士)<br>委 員 村田 淑子(京都先端科学大学経済経営学部教授)<br>委 員 竹井 明(学識経験者)                                                                                                                  |                          |
| 議事概要                     |        | (1)総括表について<br>(2)入札契約方式別発注案件一覧表について<br>(3)抽出案件に関する入札経緯等について<br>(4)指名停止等の運用状況一覧表について<br>(5)談合情報対応状況一覧表について                                                                         |                          |
| 対象期間                     |        | 令和2年4月1日 ~ 令和3年3月31日                                                                                                                                                              |                          |
| 対象件数                     |        | 119件                                                                                                                                                                              |                          |
| 抽出案件                     |        | 10件                                                                                                                                                                               |                          |
| 内<br>訳                   |        | 対象案件                                                                                                                                                                              | 抽出案件                     |
|                          | 一般競争入札 | 17件                                                                                                                                                                               | 2件                       |
|                          | 指名競争入札 | 100件                                                                                                                                                                              | 6件                       |
|                          | 随意契約   | 2件                                                                                                                                                                                | 2件                       |
| 委員からの意見・質問と<br>それに対する回答等 |        | 意見・質問                                                                                                                                                                             | 回 答 等                    |
|                          |        | (1)総括表について<br>・特になし<br><br>(2)入札契約方式別発注案件一覧表<br>について<br>・特になし<br><br>(3)抽出案件に関する入札経緯等に<br>ついて<br>・災害復旧に係る随意契約について<br>京都府が同一の工事場所で先に工<br>事着手していたとあるが、府の施<br>工業者の選定方式はどういったもの<br>か。 | ・競争入札により請負契約を締結した<br>もの。 |

|                      | 意見・質問                                                                                          | 回 答 等                                                                                                                                         |
|----------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 委員からの意見・質問とそれに対する回答等 | <p>・京都府発注工事と市発注予定工事が同じ地域内に存在したため、同一業者に発注することで、費用の削減が図れるということであるが、府が工事発注する時点で市の工事も発生していたのか。</p> | <p>・ご質問のとおり。そのため、施工場所等が重複しないように、京都府と事前協議し、「災害復旧事業の二重採択防止に関する協定」を締結し、双方の事業範囲を明確にし、工程を決定したうえで発注したものである。</p>                                     |
|                      | <p>・本件のような同一エリアの工事について、府と市、両方の内容を盛り込んで一度に発注することは制度的に不可能か。例えば、府が発注を一括で行い、市は相当分を費用負担する手法など。</p>  | <p>・歳出予算が別であること、また歳入として見込んでいる災害復旧に係る補助金の内容や地元負担金の有無などに違いがあるため、一括での発注は現実的ではない。</p>                                                             |
|                      | <p>・随意契約の案件のうち、「同一エリア工事で先行して実施している工事の業者への随意契約」のようなパターンは何割程度あるのか。</p>                           | <p>・このような内容の随意契約は、非常に少ないケースである。</p>                                                                                                           |
|                      | <p>・出会い丁場とはなにか。</p>                                                                            | <p>・複数の業者が、同じ場所で工事や関係する作業を同時に行うこと。<br/>・このような状況を避けることを理由とし、一者がまとめて受注することで、経費の削減だけでなく、業者間の調整不足による工事のやり直しの防止や、工事範囲・スケジュール等の調整を円滑に進めることができる。</p> |
|                      | <p>・市占用物件（排水管）の再接続に係る工事については、国道工事に伴って一度撤去したものを再接続する内容であるが、撤去工事の実施年度はいつか。</p>                   | <p>・令和元年度からの繰り越し工事として、令和2年度に施工されたもの。</p>                                                                                                      |
|                      | <p>・撤去と再接続の一括発注はできなかったのか。</p>                                                                  | <p>・国道工事の進捗や完了時期が不透明であること。また、撤去工事から再接続工事までの休工期間が長くなることが予想されたため、別発注とした。</p>                                                                    |
|                      | <p>・占用物件撤去の必要が生じた理由が国道工事であるならば、原因者が撤去と再接続も行う可能性も考えられるが、工事や費用の持ち分について協議等があったのか。</p>             | <p>・当初事業計画の中で協議した結果、市の工事実施、費用負担となった経過がある。</p>                                                                                                 |

|                      | 意見・質問                                                                            | 回 答 等                                                                                        |
|----------------------|----------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------|
| 委員からの意見・質問とそれに対する回答等 | <p>・今後、一括発注による経費削減や事務の負担軽減が見込める場合には、工事発注を原因者に依頼し、市はその負担金を支払うような手法の積極的な検討を願う。</p> | <p>・そういった手法の検討も、今後、状況に応じて協議する必要があると考える。</p>                                                  |
|                      | <p>・共同企業体を結成する組み合わせは、同一の場合が多いか。固定されたものはあるか。</p>                                  | <p>・所属している技術者や手持ち工事の状況が常に変化しているため、組み合わせもその時々で異なる。</p>                                        |
|                      | <p>・設計内容に間違いはないと思うが、失格者が多かった事例については、入札後に工事担当課と情報を共有し、精査を行う等の検証をしておいたほうがよい。</p>   | <p>・引き続き工事担当課と情報共有等、密に連携していく。</p>                                                            |
|                      | <p>・プールの造波装置は特殊な機械であると思うが、応札業者は自社のみが対応可能であることが認識できた状況か。</p>                      | <p>・ご質問のとおり特殊な工事内容であるが、業者選定方法を検討する段階で、亀岡市の登録業者で本案件の取り扱いが可能であると考えられる業者が複数あったため、一般競争入札とした。</p> |
|                      | <p>・本案件の機械器具設置に係る入札参加資格の設定方法について、参加資格を満たす業者は何者あったのか。</p>                         | <p>・機械器具設置を希望工種として登録している業者は数十社ある。その中で造波設備設置工事の施工可否について、市で判断することができなかったため、一般競争入札の方式を採用した。</p> |
|                      | <p>・「取り抜け」とは、何を意味するのか。</p>                                                       | <p>・発注する工事と同一工種、同一等級の工事を指名業者選定以降に落札し、施工が完了していない場合は、入札参加できないとするもの。</p>                        |
|                      | <p>・「辞退」は明確に申し出があったということで良いか。また、「未受領」とは何を意味するのか。</p>                             | <p>・「辞退」はご質問のとおり。「未受領」は、亀岡市が指名したが、辞退の連絡がなく、応札もなかったもの。</p>                                    |

|                          | 意見・質問                                                                    | 回 答 等                                                                                           |
|--------------------------|--------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 委員からの意見・質問と<br>それに対する回答等 | ・辞退理由はなにか。                                                               | ・辞退の理由は、「技術者の配置が不可能」というものが多い。亀岡市以外の工事もある中で、技術者の数に限りがあることが原因であると考ええる。                            |
|                          | ・「取り抜け」が多く、ライバル数が減少したことは、落札率が高くなっている要因とも考えられるか。                          | ・可能性としては考えられるが、指名業者数及び「取り抜け」業者が何者あるかを、指名参加業者が把握することは不可能であると考ええる。                                |
|                          | ・「取り抜け」の発生を詳細に推測することは難しいと思うが、取り抜けが多い事象が頻発するようであれば、指名業者数を増やしても良いのではないか。   | ・ご指摘のとおり、「取り抜け」が多くなることが予測できる場合や頻発するような場合は、指名業者を増やすことも検討する必要があると考える。                             |
|                          | ・建築B等級の業者は全部で何者登録されているのか。                                                | ・8者が登録されている。                                                                                    |
|                          | ・建築B等級で登録されている8者の内、5者が指名されているが、残りの3者の扱いは。                                | ・亀岡市発注の同等級工事種別の手持ち工事があったため、指名から外したもの。                                                           |
|                          | ・全体に関係する話であるが、指名業者の選定理由は、案件ごとに考えて変更しているのか。                               | ・基本的には工事種別と等級により選定しているため、同様の記載内容になる。複数の工事種別の実績や建設業許可を必要とするような特殊な場合に当たっては追記することもある。              |
|                          | ・入札額が同額で、くじにより落札者を決定しているが、くじ対象者が市内業者と市外業者であった場合は、市内業者が落札者として優先されるのではないか。 | ・地方自治法施行令で、同額の入札があった場合は、くじで落札者を決定することが明記されているため、市内業者であることを理由に落札者とすることはできない。<br>(地方自治法施行令167条の9) |

|                          | 意見・質問                                                                                                                                                                                                                                                                            | 回 答 等                                                                                                                                                                                                                          |
|--------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 委員からの意見・質問と<br>それに対する回答等 | <p>・辞退数が多いが、先に審議した案件と違い、多くの業者が指名されているため辞退が多いことが気になるが、何か違いはあるのか。</p> <p>・一般競争にしなかった理由は。</p> <p>・予定価格1,500万円程度の工事規模で、指名26者は多いのではないか。工事場所と所在地による優先順位をつけて指名業者数を調整してもよかったのではないか。</p> <p>・指名業者数については、競争性確保のために少ないより多いほうが望ましいが、多すぎても事務やコストの増加に繋がってしまう。説明がつかないのであれば、制限を設けても良いのではないか。</p> | <p>・先に審議頂いた案件とは工事種別が異なり、本案件については市登録の業者数が多いため指名業者も多くなっている。</p> <p>・本案件を施工することができる市内登録業者が多数存在したため、指名競争入札とした。競争性確保の観点からも問題ないと思う。</p> <p>・多くの業者に入札参加機会を設けること、競争性確保の観点から26者を指名したところである。</p> <p>・入札参加機会、競争性の確保を含めて検討する必要があると考える。</p> |
|                          | <p>(4)指名停止等の運用状況一覧表について</p> <p>・事故の発生による指名停止があるが、事故の裏付けについて確認できるものはあるか。</p> <p>(5)談合情報対応状況一覧表について</p> <p>・特になし</p> <p>(6)その他</p> <p>・特になし</p>                                                                                                                                    | <p>・京都府からの報告を受けて本市においても指名停止の措置をとった。</p>                                                                                                                                                                                        |